

青森市子ども会議からの意見一覧

資料4

質問1	「子どもの権利」普及啓発に関する講座をもっと知ってもらうためには？	意見:23件
1	もっとPRすべきだと思う。そして、もっと興味を持ってもらえる話題を子どもの権利の勉強会につなげると、来てくれる人も増えるのではと思う。	小学5年
2	広告を学校などで配る。	小学5年
3	遊びやゲームなどレクリエーションをしながら自然に学べるような感じにする。	小学5年
4	校長先生だけではなく、担任を持っている先生全員に子どもの権利の勉強会を受けてほしい。「子どもの権利相談センター」のチラシを配った後に、すぐに自分の分を捨てている先生がいた。	小学5年
5	参加者だけもらえる生活用品や筆記用具を配る。	小学6年
6	市は広報やCMなどでお知らせしたりする。自分たちだったら、ポスターを作ってお知らせができる。	小学6年
7	市役所にポスターを貼る。市のホームページに載せる。CM(テレビ・ラジオ)に出る。	小学6年
8	学校での子どもの権利の授業を増やす。	小学6年
9	市はポスターなどを作り、自分たちは呼びかけをする。	小学6年
10	大きなイベントなどで勉強会のことについて書いた紙を貼ったり、市役所の外の目につきやすいところに貼ったらいいと思う。	中学1年
11	権利相談センターを紹介すると同時に、勉強会のことも紹介するとよいと思う。また、学校で行っている子どもの権利に関する授業の時に、勉強会についての話をするとよいと思った。	中学1年
12	青森市のイベントの会場に参加して声がけをしたり、パンフレットを配る。	中学1年
13	先生たちに子どもの権利について学びなおしてほしい。	中学2年
14	町会の回覧板に貼って呼びかけてみる。	中学3年
15	学校や公共施設で公演する。	中学3年
16	CMなどや広告で宣伝する。	高校1年
17	オンラインでの会議、またはYouTubeかInstagramのライブ配信で学習会を行う。	高校2年
18	子どもの権利に関する〇×クイズを作って気軽に学べるようにする。	高校2年
19	ポスターで宣伝する。	高校2年
20	パンフレットを作ったり広報あおりなどに子どもの権利について掲載する。	高校3年
21	PR活動を行う。	高校3年
22	SNSを使って見てもらえるようにしたり、ケーブルテレビなどで見てもらえるようにする。	高校3年
23	子どもが来たくくなるような催し物を企画して、各小中学校に知らせる。	高校3年

質問2	児童館を使う子どもを増やすためには？	意見:23件
1	もっと来やすい児童館にしたほうがいいと思う。建物のリフォームをしないと、見ただけだと少し怖い。そして、入口がどこか分からない。	小学5年
2	ホームページなどを使ったり、SNS時代の今を利用する。	小学5年
3	地域によっては児童館がないところがある。児童館を作ることが難しいとしたら、地域の公民館や小学校の空き教室などにその代わりになるようなスペースを作って欲しい。また、もし管理する人が少ない場合は、PTAの人たちにもお願いしてほしい。	小学5年
4	児童館は楽しいところで安心、安全に過ごすことができる場所だということを知らせるチラシを作る。	小学5年
5	楽しいことやイベントをつくる。	小学6年
6	市は広報やチラシでお知らせしたり、学校にパンフレットを配布するといいと思う。自分たちだったら、ポスターやパンフレットを作成することが出来ると思う。	小学6年
7	学校で児童館の場所などが書かれた紙を配る。	小学6年
8	子どもが遊べるところを増やす。	小学6年
9	市はTVのCMなどで広めて、自分たちはポスターなどで呼びかけ	小学6年
10	子どもたちに学校へのプリントを使って児童館の楽しさ、良さを伝える。	中学1年
11	小学校・幼稚園などと連携をとり、近くの児童館を紹介するポスターを作って貼る。そして、そこでイベントがある際にはお便りを送る。	中学1年
12	児童館だよりをもっと華やかにする。もっと治安をよくする。学童や放課後児童会を児童館でやる。	中学1年
13	自分の地域にある児童館の紹介をするチラシを各小学校に配る。	中学2年
14	児童館でテレビが見れたり、遊ぶものを多くする。	中学3年
15	チラシを配る。	中学3年
16	市政だよりで宣伝	高校1年
17	コロナウイルスの影響で利用者が減っているので、コロナ対策を強化していることを伝えるものを学校に配布する。	高校2年
18	他の児童館との関わりを増やす(いつも同じメンバーだと新しい出会いとかがなくて新鮮さがなくなるから)。ラジオ体操みたいにスタンプカード作る。	高校2年
19	施設を設けることも大事だと思う。	高校2年
20	児童館が足りないという現状を知らせるようなポスターなどを作る。	高校3年
21	学校にチラシを配る。	高校3年
22	児童館でどんなことが出来るのかをPRする。どんなことをしたいか子どもたちにアンケートを取ってみる。	高校3年
23	児童館体験ツアーを小学生に実施する。	高校3年

質問3	青森市子どもの権利相談センターへの相談者数を増やすためには？	意見:23件
1	まず、子どもの権利について知ってもらわなければ意味がない。それを踏まえたうえで、センターのパンフレットのようなものを配布すべき。	小学5年
2	アンケートをとり、こんなところがありますよと宣伝してみる。	小学5年
3	それぞれの学校へ月1回でもいいので出張で相談窓口を開設したり、もし学校が難しい場合は、地域にある公民館や福祉館、大学などの施設を借りて出張窓口を開設したりしてはどうかと思う。配付物は、親の判断で廃棄されることもあるようなので、できるだけ子どもたちに近いところであってほしい。	小学5年
4	困っている友達がいたら、子どもの権利相談センターのことを教えてあげる。	小学5年
5	子ども会議委員の動画を使って相手が安心するように(怖いと思わせないために)チラシや広告を作る。	小学6年
6	「子どもの権利相談センターを利用するとどんないいことがあるのか」をポスターなどでお知らせする。	小学6年
7	学校にポスターを貼る。図書館に置いておく。一人一台のクロームブックにのせる。学校で配る。	小学6年
8	ポスターなどを人通りが多いところに貼る。	小学6年
9	ポスターや呼びかけ	小学6年
10	TVのCMなどを使い、権利センターのこと(24時間対応、どんな悩みも聞く)などと宣伝すると相談する人が増えると思う。	中学1年
11	子どもの権利相談センターをもっと気軽に利用するために、小中学校に配布されているクロームブックで相談できるようにする。	中学1年
12	実際に使ってもらう。小規模でいいと思うのでものづくりをするコーナーを設ける。	中学1年
13	教室で子どもの権利相談センターのチラシを配る時に、先生は説明をみんなにしてほしい。そして、親とも一緒に見るように話してほしい。	中学2年
14	権利について知ってもらうために市内の小中学校で権利についての講話をする。	中学3年
15	チラシを配る。	中学3年
16	イベントで相談場所を設ける。	高校1年
17	小中学校で定期的に配られる権利相談センターの連絡先を書いたカードをマグネットにする。(なくさないように)	高校2年
18	学校側に市の意志を伝える上で配布物を渡して、学級でも呼びかけてもらう。	高校2年
19	「けんりはかせ」を使って宣伝したら若い人の目にも留まりやすいと思う。	高校2年
20	親子が訪れるようなところにポスターなどを掲示する	高校3年
21	より多くの人の目に触れるようにPR活動を行う。	高校3年
22	SNSなどを使って友達とチャットをする感覚で相談できるようにする。	高校3年
23	権利センターで催し物を開催する。	高校3年

質問4	いじめをなくすためには？	意見:23件
1	きつといじめをしている人はいじめていると気がついていない。だから、もっといじめられている人、いじめている人に対して、何が良くなかったか具体的に伝え、その後どうすべきか…というような、アンケートを取るのはどうだろうか。	小学5年
2	いじめの例えの動画などを作る。	小学5年
3	どんなことが「いじめ」になるかわからない人がいると思うので、小学校1～6年生、中学校1～3年生、それぞれの学年ごとにわかりやすい言葉で理解してもらえるようなチラシやポスターがあるといいと思う。	小学5年
4	あなたがしたことて友達の心や体を傷つけることもあるということを知らせるチラシを作る。	小学5年
5	いじめがなければ良いことがあると伝える。	小学6年
6	気軽に相談できる場所を作るといいと思う。自分たちには、いじめをしない・させないことが出来ると思う。	小学6年
7	いじめを見たら先生に教える。いじめられていると思ったら電話するところを作って、それについて書かれた紙を学校で配る。	小学6年
8	1人になる人がなるべくいないようにしてみんなで仲良くする。	小学6年
9	みんなで話し合う。	小学6年
10	何人かで毎日意地悪をしてももちろんいじめですが、1人でも1日でも相手が「いじめ」と感じたらいじめになるということを教える。	中学1年
11	いじめに関する法律があることをもっと広めればよいと思う。いじめをどのように解消したか過去の事例を紹介する。まず、私たちがいじめをしない、いじめを見つけたら止める、を徹底する。	中学1年
12	先生のいないところでいじめは起こると思うので、防犯カメラを設置する。自分がやられると大切なものを失ったような気持ちになるからため。	中学1年
13	担任の先生がクラスの一人ひとりに目を配れるようになるといいと思う。小学生のうちから多様性の芽を育てる、声がけをしてほしい。	中学2年
14	見かけたら、やめようと声かけをして、また大人の人に知らせる。	中学3年
15	いじめは無くならないので、無くなるように呼びかけや実体験を教えたりする。	中学3年
16	自分たちで雰囲気を出す。	高校1年
17	「ありがとう」「ごめんなさい」「素直な心で」ができればシールを貼り、学年ごとにシールの枚数を競うことで争いやいじめを防ぐ、というもの。改良すれば各学校でうまく活用できそう。	高校2年
18	実際にいじめられた人のお話とかを直で聞くことで深刻さを知ってもらう。	高校2年
19	いじめをした人は特定の学校を受験できなくすればいいと思う。	高校2年
20	相談施設などを増やす、相談施設の利用時間をのぼす。	高校3年
21	いじめ調査の頻度を高くして行う。	高校3年
22	いじめがなぜダメなのか教える。いじめられている人がいたら声をかける。	高校3年
23	各学校で、先生と子どもが仲良くなれるような機会を作ってもらう。	高校3年

質問5	不登校をなくすためには？	意見:22件
1	スクールカウンセラーがうまく機能していない。今のところ、スクールカウンセラーに相談している人を一人も見えていない。また、不登校の人との連絡手段も必要だと思う。	小学5年
2	なぜ不登校という状態になってしまうのかアンケートをとり、解決策を見つける。	小学5年
3	僕のいここには今、不登校になっている6年生がいる。2年生の時に担任の先生がみんなといっしょにできないことでグイグイ引っ張られたことで怖くなってしまったそう。それから人がいっぱいいるところに行くと人の目が怖くなってしまったそう。僕にはわからないことだが、そういう気持ちがわかる人がよいアドバイスや相談を受けてくれるようになってほしい。	小学5年
4	まずは、先生が子どもの権利についてしっかりと勉強してほしい。言葉遣いや威圧的な態度で子どもたちを怖がらせないでほしい。どんな子でも安心して自分らしくいられる学校を作りたい。そうすれば、不登校が減ると思う。	小学5年
5	人1倍ほめる。	小学6年
6	困っていることを聞いてくれる場所がたくさんあるということを伝えるためにポスターやチラシでお知らせする。自分たちには、ポスターを作って気軽に話せる場所のお知らせができると思う。	小学6年
7	なぜ行きたくないのかを聞いてそれを改善する。一人ぼっちをなくす。いじめをなくす。	小学6年
8	先生などカウンセラーの人と話す。	小学6年
9	その不登校の子のためにみんなで話し合い、呼びかけやポスターなどを作る。	小学6年
10	何かしらの理由で行きたくなくなった学校に無理やり行かせるよりは、普通の小学校・中学校ではなくてもその子が「勉強できる」環境を市でたくさん作ることが大切だと思う。	中学1年
11	放課後に不登校の子が学校に来て学ぶ時間を設ける。リモート授業を行う。(リモート授業を出席とする)自宅での出張スクールカウンセリングを試みる。自分なら相手のことを思って、逆にそっとして学校に来たらいっぱい話そうと思う。	中学1年
12	不登校の子と同じ趣味を持って、学校で趣味の話をしたと思えるようにする。	中学1年
13	学校に必ず行かなければならない、というのが、まずは違う気がする。先生たちが一人ひとりの多様性を認めることで、子どもたちも互いの多様性を認め合え、みんなに会いに行きたくなくなるような学校になると思う。	中学2年
14	フリースクールを作り、そこに行ったら学校に行くような感じになるようにする。	中学3年
15	カウンセラーを紹介するチラシを配ったりする。	中学3年
16	色々話を聞いてあげる	高校1年
17	勉強のサポートを重点的に行う。担任やクラスメイトが学級の様子を伝えるのは、疎外感が増えて個人的に逆効果だと思う。	高校2年
18	インターネットの利用の仕方についてもっと呼びかけを行う。	高校2年
19	不登校の人と、普通に学校に行ってる人で合同のイベントを開き、コミュニケーションをとるといいと思う。	高校2年
20	不登校になる理由に対処する。	高校3年
21	不登校になった人それぞれに対して、柔軟性を持った対応をできるようなルールを作る。ネットを活用して学校に行かなくても授業を受けられるようにする。	高校3年
22	不登校の子のための学校(勉強を教えてくれる施設)を作る。	高校3年